



進級おめでとうございます！

11日（金）に卒業式が終了し、3年生がいなくなった校舎1階はとてさびしく感じられます。3年生の存在が大きかったことを改めて感じるこの一週間でした。

1, 2年生にとっても、本日の修了式をもって27年度の教育課程がすべて終了となりました。進級おめでとうございます。4月からは、「二中の顔」として活動する機会が増えます。学習や部活動に今よりも成長した姿が見られることを期待しています。

今年1年間の教育活動が無事に終了できました。保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

厳粛で感動的な卒業式が終了！

第68回卒業証書授与式を実施し、中学校3カ年の課程を修了した197名の卒業生が巣立ってきました。多数のご来賓、保護者の皆様にご臨席をいただき、深く感謝申し上げます。2時間を超える卒業式となりましたが、厳粛で感動的な雰囲気の中で実施され、生徒一人一人の心の中に中学校3年間の思い出とともに、大切な1ページとして刻まれたものと思います。

《二中学生の活躍》

緑の提言・作文コンクール
入選 馬飼野若奈（2年）
有馬 蘭未（3年）
佳作 小山 純晴（2年）



式は午前10時から始まり、担任の呼名に元気よく返事した卒業生一人一人に、卒業証書を手渡しました。また、来賓の皆様から祝辞をいただいた後、市教育委員会から有我紗耶香さんに記念品が授与されました。その後、在校生を代表して大柿奈々海さんが送辞を行い、別れの歌



「明日の空へ」を卒業生に送りました。答辞は前生徒会長の大木翔大くんが行い、在校生に対して「桜散る頃～僕たちのLast Song～」を返しました。ともに感動的な別れの言葉と合唱でした。最後に全校生で「旅立ちの日に」と校歌を式場いっぱいに響かせ、すばらしい卒業式を終えることができました。

県立高校入試結果！

14日に県立高校 期選抜の合格発表がありましたのでお知らせします。(3月23日現在)

()の数字は 期合格者数で内数となっています。

須賀川高校	普通科	32名(13)
	オフィス情報科	1名(1)
須賀川桐陽高校	普通科	28名(15)
	数理科学科	8名(7)
清陵情報高校	情報電子科	6名(4)
	電子機械科	9名(5)
	情報処理科	8名(6)
	情報会計科	3名(1)
岩瀬農業高校	生物生産科	2名(1)
	園芸科学科	1名
	環境工学科	8名(2)
	食品科学科	5名(1)
	ヒューマンサービス科	2名(1)
	アグリビジネス科	1名
長沼高校	普通科	1名(1)
安積高校	普通科	8名
安積黎明高校	普通科	5名
郡山高校	普通科	1名(1)
	英語科	3名(2)
郡山東高校	普通科	3名(2)
あさか開成高校	国際科学科	1名
郡山北工業高校	機械科	1名(1)
田村高校	体育科	2名(2)
石川高校	普通科	1名(1)
光南高校	総合学科	1名
郡山萌世高校	普通科	3名

夢を叶えるためには？

自分の力を最大限に引き出すことが大切です。(新聞のコラムから)

他人を大事にする人が一番大事にされる。

1人の前でも100人の前でも変わらずに、力を発揮できる人がチャンピオンになる。息苦しいほどの緊張感を楽しむ。

結果を引きずらないことが一番。簡単な正攻法。過去の結果を捨てて、目の前のことに没頭する。

超一流の人間を演じるうちにそうなる。一流の人間を演じきる。

「ありがとう」という言葉、感謝の気持ちを忘れない。

～ 離任式の連絡！ ～

3月31日(木)離任式を行います。生徒の皆さんは、制服での登校となります。

生徒登校 8:30

離任式 9:30～

見送り 10:15～

同窓会入会式を実施！

10日(木)の3校時に本校同窓会長の橋本清秀様にご出席いただき、本校体育館において平成27年度同窓会入会式を実施しました。同窓会長様からは、夢や目標を達成するために「不撓不屈」の精神で頑張っ

てほしいという励ましの言葉がありました。また、卒業記念品が斎藤未菜さんに授与され、佐藤怜奈さんが誓いの言葉を述べました。

卒業生197名が入会となり、17,301名の会員数となりました。



こころの窓

「人間は考える葦である」という言葉を知っている人は多いと思います。考えることが多いほど、思い悩むことも多くなってくるものであり、誰もが多かれ少なかれ悩みを抱えながら生活しています。うまく解決することができれば悩むこともないのですが、無いことに越したことはありません。一人で抱え込むのではなく、人に相談し意見を聞くことも大切なことです。「聞くは一時の恥」という言葉を心がけたいものです。

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

思い悩む

人間は神様ではないのだから、何もかもが見通して、何もかもが思いのまま、悩みのなければ憂いもない、そんな具合にはゆかないのである。悩みもすれば憂いもする。迷いもする。わからん、わからん、どうにも判断がつかん、どうにも決心がつかん、そんなことが日常しばしば起こってくる。

暮ならば、わからんままに石を打つても、別に人に迷惑をかけるわけではないけれど、人と人と互いに密接なつながりを持つこの世の中で、わからんわからんと思い悩んだままで仕事を進めたら、とんでもない迷惑を人に与えてしまう。わからなければ、人に聞くことである。己の殻に閉じこもらないで、素直に謙虚に人の教えに耳を傾けることである。それがどんな意見であっても、求める心が切ならば、その中から、おのずから得るものがあるはずである。

お互いに思い悩み、迷い憂えることを恥じるよりも、いつまでも己の殻に閉じこもって、人の教えを乞わないことを恥じたいと思うのである。